

＜グッドデザイン賞 2年連続受賞＞



『ジオ彩都いぶきの森』が2011年度グッドデザイン賞を受賞

阪急不動産株式会社(本社：大阪市北区、代表取締役社長：島田隆史)が開発しました『ジオ彩都いぶきの森』(大阪府箕面市)が財団法人日本産業デザイン振興会主催の「2011年度グッドデザイン賞」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。また、当社においては『ジオ彩都プレミアムテラス』に続き、2年連続の「グッドデザイン賞」受賞となります。

なお、当社が参画しておりますJ V物件『ザ・千里レジデンス』(共同事業主 住友商事(株)・オリックス不動産(株))におきましても同賞を受賞しております。

『ジオ彩都いぶきの森』の紹介

本物件は、2004年にまち開きしたニュータウン「彩都」に建つ186世帯の集合住宅です。斜面地の特殊性を住戸プラン・外観の特徴に変換したハードデザインとコミュニティの形成についてのソフトデザインを両立させた集合住宅です。

ハードデザインでは、「約60%が斜面地」「敷地内の高低差約30m」という厳しい条件でしたが、敷地の南側に5.2haの公園が広がり、万博公園や大阪都心までを見渡せる類稀な眺望を有していることから、この周辺環境や眺望という長所を活かすとともに、斜面地・高低差という敷地の特殊性を計画の唯一性を生み出す装置と捉え、平面的・断面的な工夫をもたせることでメゾネットプランや間口が約16mのワイドスパンなど特徴的な住戸プランと景観に調和した外観を実現しました。

また、ソフトデザインでは、持続可能なコミュニティの育成を目指しマンション共用施設の相互利用や電気自動車シェアリングを彩都全体で実施するとともに、棚田活動等のサークルの立ち上げ支援やイベントを実施するなど、開発事業者のコミュニティ形成への関わり方について新たな提案を行っています。

※「グッドデザイン賞」とは

「グッドデザイン賞(Gマーク)」は、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって設立された「グッドデザイン商品選定制度」を継承し、1998年より財団法人日本産業デザイン振興会の主催事業として運営される、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度です。これまで50年以上にわたって新しい時代の文化と生活を創造することを目的に「より豊かなライフスタイル」と「良いビジネス」を導く運動として展開され、のべ受賞件数は37,000件以上にのぼり、今日では国内外の多くの企業や団体が参加しています。また、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」はすぐれたデザインを示す象徴として広く一般に親しまれています。



【プロジェクト概要】

事業主体	阪急不動産株式会社、阪急電鉄株式会社
所在地	大阪府箕面市彩都粟生南4丁目1番20号
敷地面積	16,350.93 m ²
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上10階、地下2階
住戸数	186戸
意匠設計	株式会社安井建築設計事務所
構造・設備設計	株式会社鴻池組大阪本店一級建築士事務所
施工	株式会社鴻池組大阪本店
着工	2009年12月
竣工	2011年3月

以上

【添付資料】 「ジオ彩都いぶきの森」外観写真 1枚
 【ニュースリリース配布先】 大阪建設記者クラブ、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

本件に関するお問い合わせ先
 阪急不動産株式会社 総務人事部 久保・吉川(亨)
あきら
 TEL : 06-6313-3340 / FAX : 06-6313-1283